



〒975-0031

福島県南相馬市原町区錦町一丁目 30 番地

TEL:(0244)26-1315

FAX(0244)26-1318

E-mail:sousou.kyouiku@pref.fukushima.lg.jp



令和8年1月14日（水）実施 地域学校協働活動（南相馬市立原町第三小学校）

## 原三小地域学校協働本部学校支援

### 学校のオーダーからの実現

南相馬市内の多くの学校では、相馬野馬追を取り上げて学習しているところがたくさんあります。原町第三小学校では、6年生が相馬野馬追の学習を年度当初から継続的に行っており、学びを進める中で様々な疑問が湧いてきたそうです。そこで、今回は原三小地域学校協働本部にオーダーをし、質問に答えていただける方を探してもらいました。すると、協働本部の方の人脈やネットワークを駆使して、市の観光交流課の職員である相馬野馬追執行委員会の平田さんと、実際に出場している中ノ郷騎馬会所属の西さんの2名を招くことになりました。



### 野馬追で盛り上げる、野馬追を盛り上げる



相馬野馬追執行委員会の平田さんからは、野馬追を支える方という立場でお話を頂きました。原町三小の子どもたちからは「どのような仕事をしているのですか」「どのような準備をしているのですか」「運営する時に大変なことは何ですか」など、多くの質問が出されました。中でも「どのように心がけているのですか」という質問に対して、「①伝統を守る。②出場者へのリスペクト。③観客へのおもてなし。④人も馬も安全に。」という4点に気を付けているという話が、子どもたちの心に響きました。

また、野馬追を見に来る観客の動向について、クイズ形式で教えてくれました。今年度の野馬追では、43都道府県の皆さんにチケットが売れており、「売れなかった大分県、和歌山県、鳥取県、島根県の4県の方にも来てもらいたい」という話も大変興味深いものでした。

最後に、児童の皆さんへ「野馬追で盛り上げる」「野馬追を盛り上げる」ことをお願いしていました。

### 貴重な出場者の生の声、野馬追に懸ける思い

後半は、実際に野馬追に出場している西さんからのお話でした。西さんは5歳の頃から騎馬武者として野馬追に参加し、馬の飼育も行い、馬具や鎧の作成、修繕もできる方です。

西さんからは、伝統の継承や地元を盛り上げるという話だけではなく、出場している側の本音の話をたくさん聞かせていただきました。鎧を装着する時間や馬を飼うためにかかる費用等は、クイズ形式で話を進めてきました。子ども達は、乗馬練習のための起床時間や、陣笠の材料などのお話を驚きと関心を持って聞いていました。さらに、西さんは実際にかかる費用や馬の世話についてお話をしてくれましたが、そこには驚きだけではなく、相馬野馬追に懸ける思いの強さを感じることができました。



### 地域学校協働活動での働き方改革

今回の学校支援事業は、人選から交渉まで地域学校協働本部の尽力で進められました。学校の先生方は、人探しや交渉、日程調整等の作業から解放され、授業に集中することができました。しかも、地域の人脈が無ければ呼べないような講師の方を招いての学習ができました。地域学習で、博物館や文化財課の職員ではない地元の方を招くことができたというのが特筆すべき点です。地域学校協働活動の好事例として参考にできることが多くありました。

【今回使用した写真は全て相双教育事務所のデジタルカメラで撮影したものです】

